

2020年度 第2回



# My Premium

## を語る会

第2回目は、今年度の科研費に採択されたお2人の先生をお迎えして、採択までの道のりや申請のポイントなどについてお話しいただきます。ぜひご参加ください！！

**日時**

2020年 8月5日(水)

15:00~16:30

**場所**

8号館 S302



## 1.プレゼンテーション

- I. 佐藤博子先生 「ご指導により取得できた科研費  
— 熱い思いの研究 —」
- II. 杉本幸子先生 「三度目の正直」

## 2.質疑応答

## 3.ミニディスカッション &フリートーク

会に関する問い合わせ・連絡先

学内学術交流推進小委員会

小児・精神看護学部門 古溝陽子

Mail: [furumizo@fmu.ac.jp](mailto:furumizo@fmu.ac.jp)

内線: 5516

8月5日(水)に第2回目の「My Premium を語る会」が開催されました。

今回は、今年度科研費を獲得されました、佐藤博子先生、杉本幸子先生をお迎えしてご講義を頂きました。今回もコロナ対策でソーシャルディスタンスを守っての講演会のなか、沢山の教員の参加がありました。

佐藤博子先生のテーマは「ご指導により取得できた科研費－熱い思いの研究」でした。佐藤先生は、一貫して皮膚疾患看護について実践・研究をされています。皮膚疾患看護師としての臨床経験と看護のやりがい、ご自身のお子様の皮膚疾患に対し辛い思いをさせてしまった思い、そして大学院に進学しての指導教授との出会いをお話いただきました。採択のポイントについては、指導教授の丁寧で的確な指導を受けたこと、研究の学術的重要性・妥当性の記述を充実させたこと、科研申請先の小区分を変更したことも大きかったと話されていました。また、文章のフォントや強調のさせ方も提示くださり、佐藤先生の柔らかな雰囲気と笑いの中でお話を終えました。



杉本幸子先生のテーマは「三度目の正直」でした。杉本先生は「ファーマシー・ナース：薬局に所属し活動する看護師」について研究をされています。2018年、2019年と科研に申請しA評価を得て、本学の育成研究費を受け研究を続けていきました。「ファーマシー・ナース」の必要性について福島県内の薬局薬剤師にアンケートを実施し、研究結果を学会発表するなど、実績を着実に積み重ねていきました。申請書に自己の研究結果を盛り込み、実現可能性を向上させたことが採択につながったと話されていました。発表スライドには、杉本先生のMy premiumが随所に盛り込まれ、先生のプライベートな一面を垣間見ることもできた時間でした。



両先生が共通して話されていたことは、自己の研究に対する熱い思い、自己の研究が世の中の役に立つという強い信念、研究協力者の輪の拡大と絆、そして、素晴らしい指導者との出会い、でした。

大変有意義なお話を聞き、来年度の科研の採択に向けての士気が向上した参加者でした。